

ラグビー体験



田中選手による 講演会

ラグビーの日本代表として活躍した田中史朗選手。世界で活躍するために頑張ってきたことなどを伝えるために講演会とラグビー体験の授業をしてくれました。

田中選手はラグビー界では決して恵まれた体格とは言えませんが、ワールドカップやスーパーラグビーなど、世界を相手にたくさんの経験をしています。そんな田中選手を前に子どもたちは目を輝かせて話を聞いていました。

英語はなぜ大事？

「海外リーグに行ったときに英語があまり話せず、みんなとのコミュニケーションがうまくできませんでした。英語を話せるようになっていれば、チームのみんなともっと仲良くなれたし、世界のみんなと

も仲良くなれると思います。みんなには可能性を広げてほしいです。」

アピールできるって？

「体が大きいほうではないため、あまり目立ちませんが、自分の持ち味である「スピード」や「体力」などをチームのメンバーやコーチにアピールした結果、自分の必要性が認められることになりました。アピールの仕方はなんでも

いいんですよ。悪いことはただめんどくさいことや、楽しいことで、人の心の中に「私はここにいますよ」ってことを訴えかけることが大切です。そうすることで、認められたい、チャンスを作れます。」

楽しくなる工夫って？

「人生楽しいほうがいいでしょ？みんな常に楽しんでください。」

伝えたい事

其の志 英語の勉強を頑張ってください。
其の志 アピールをできる人になってほしい。
其の志 人生が楽しくなるように工夫してほしい。

ラグビー体験では人数ゲーム、ボール送り、パスの練習、トライの練習、キックキャッチゲームなど、ラグビーをやったことのない子どもたちも楽しく体験できる内容が盛りだくさんでした。

トライの練習では、「一回トライすると5点入るからいっぱい喜んでね！」と田中選手に言われ、全力疾走でラグビーボールを運び、トライして、力いっぱい喜びを表現していました。

人数が限定されている練習もありましたが、講演会の時にアピールの大切さを学んだ子どもたちは、思いっきりアピールをして体験できるように頑張っていました。

田中選手の工夫を凝らしたラグビー体験のおかげで、子どもたちは終始笑顔で楽しそうに体験でした。



青木 雛音 さん

運動が苦手だったけど、今日の体験を通じて興味が持てました。あと、発表も自分からするほうではなかったけど、田中選手のアピールの話を聞いて、積極的に頑張ってみようと思いました。将来の夢に向かって一生懸命頑張ろうと思いました。

矢萩 統伍 さん

英語が苦手だったけど、将来のことを考えると、今のうちから頑張りたいと思いました。あと、今日のラグビー体験が楽しくて、ラグビーが好きになりました。



ラグビーをやっていて辛かったことはなんですか？

日本代表のラグビーの試合で負けたこと。自分自身も辛かったし、代表として出ているので、日本のみんなにも申し訳なくて辛かった。でも、そこで辛いと思っているだけでレベルアップできないから、切り替えて一生懸命練習しました。

